

# 展勝地風土記

Vol.24

平成30年7月27日

展勝地開園100周年記念事業準備委員会

問い合わせ／北上市都市整備部都市計画課 ☎72-8279

展勝地開園100周年記念事業準備委員会、100周年に向けた取り組みとして、より多くの市民に展勝地を知っていただくため、展勝地に関するさまざまな情報を紹介しています。歴史的なこと、地理的なこと、自然環境のこと、そして、展勝地に深く関わった人々や展勝地を題材にした美術・文芸作品などについて紹介していきます。今回は平成30年10月26日に発行します。

## 展勝地開園80周年の出来事

司 東 道 雄

展勝地とは、桜並木だけではなく、国見山極楽寺・樺山遺跡・聖塚も範囲として知られたのは平成11年で、当時の北上さくらの会事務局故熊谷明彦氏・故高野忠俊氏から教えていただいた。2年後展勝地開園80年を迎える年だった。

聖塚は、愛媛県の武将河野通信公のお墓で、河野姓の先祖でもあり、時宗開祖一遍上人の祖父で全国から河野さんや時宗の檀信徒が参りに来ている岩手県指定文化財だ。愛媛県松山市出身ということで、聖塚と松山市北条ふるさと館に同じ桜を植樹した。先日松山市を訪れ北上市の桜と再会してきたが、元気でほっとした。



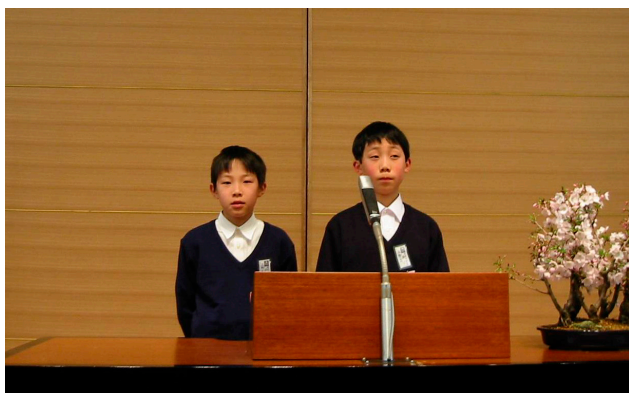
北上市の桜(愛媛県松山市北条)

平成13年、展勝地開園80周年記念事業として、内門岡地区に「普賢象」  
「大山桜」各10本、樺山遺跡に「大山

桜」50本、「二葉」10本、聖塚に「山桜」20本を照岡小学校の児童などと合計100本植樹し、今では綺麗な桜が咲いている。

平成14年3月、当時の北上さくらの会副会長軽石昇氏から連絡があり、国会議事堂隣の憲政記念館で日本さくらの会主催、「日本さくらの会中央大会」で照岡小学校の児童に宣言文を発表してほしいと依頼があった。照岡小学校に人選を依頼すると5年生の上野隼さん、4年生の上野晃寛さん兄弟に決まり、引率して東京に向かうことになった。上野兄弟は新幹線、東京ともに初体験で緊張しながらで大変だったと思う。

会場はSPに囲まれ、緊張感は一ツクの中、衆議院・参議院議長に



日本さくら祭り中央大会(東京都・憲政記念館)

よる主催者あいさつに続き、当時内閣官房副長官であった安倍晋三氏の来賓あいさつ。そしていよいよ最後

に「さくら植樹愛護宣言」となった。

大会初となる子どもが宣言すると2人が紹介され、堂々と中央に進み大きな声で宣言。宣言後大歓声があり、会場内の緊張していた糸がはじ切れ、桜が満開になったようので和やかな感じになった。

その時の宣言文は次の通りである。

日本さくら祭り中央大会「さくら100万本植樹・愛護宣言」

「わたしの住んでいる、岩手県北上市の中心には北上川が流れています。この川沿い周辺から、仏教文化の栄えた国見山までを展勝地といい、そこには北上市の木、ベニヤマザクラをはじめ、1万本の桜があります。この展勝地は、みちのく三大桜の名所として、多くのお客さまがお花見に訪れます。

去年、展勝地が開園して、80周年を迎えました。記念にと5月に日本さくらの女王のお姉さんと桜を植えました。11月には、共越つぼみ会が毎年植えている縄文時代の遺跡「樺山歴史の広場」に伊藤彬北上市長さん(当時)といっしょに80本植えました。

まだまだ植える場所があるので、もっと植えていきたいと思えます。

わたしたちが、大人になり子ども

ができたら、家族で花見に来て、「この桜はお父さんたちが植えた桜だよ」と話せるように、桜を植え、大切に保存していくことを誓い、『さくら100万本植樹・愛護運動』の宣言とします」

岩手県北上市稲瀬町

北上さくらの会「共越つぼみ会」

照岡小学校

5年 上野 隼

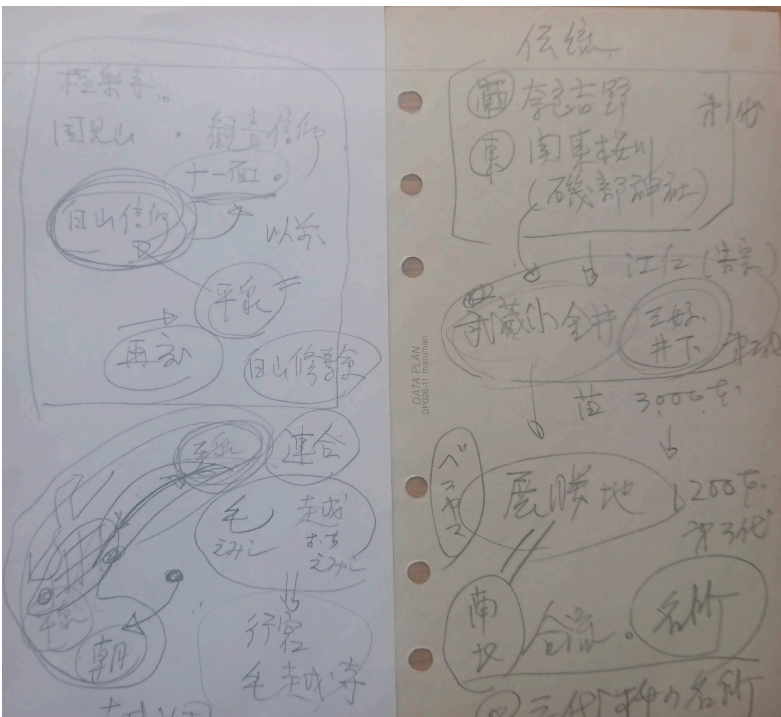
4年 上野 晃寛

大会出発前、上野兄弟は北上さくらの会故熊谷明彦事務局長と会い、

展勝地・国見山・樺山のことをいろいろ教えていただいたが、この年に熊谷さんは亡くなった。告別式に上野兄弟は参列し弔辞を読んだ。

上野隼さんは現在27歳になり、結婚し子ども2人に恵まれ仙台で暮らしている。

ぜひ、家族で樺山遺跡を訪れ花見をして宣言文通り子どもに教えていただきたい。



展勝地の桜について故熊谷氏が亡くなる直前に書いたメモ

## 筆者プロフィール

司東 道雄

昭和41年青柳町生まれ。

国見山極楽寺・安楽寺住職、NPO法人フォルダ理事長、岩手県スポーツコミッション顧問、スポーツリンク北上ディレクターなどスポーツを通したまちづくりアドバイザーとして全国各地で講演。

まちづくり団体「いなせ企画」事務局長として、北上さくらの会と連携していた。

提案として、20年ごとに、多くの市民がそれぞれの想いをもって桜を植樹することが次世代につながり、北上市民が意味をもち誇りに思う展勝地の桜になっていくのではないだろうか。